

# 目次

## CONTENTS

I. ご挨拶	1
II. 平成29年度公開講座一覧表	2
III. 平成29年度公開講座実施期間一覧表	4
IV. 受講手続き等について	8
V. 平成29年度公開講座の詳細	10
VI. 宇都宮大学までの交通	50
VII. 宇都宮大学構内建物配置図	51

平成29年度宇都宮大学公開講座受講申込書  
(切り取ってお使いください)

平成29年度カレンダー

# I

## ご 挨 拶

地域連携教育研究センター長  
中島 宗皓

今日の少子高齢化する社会において、地域への生涯学習機会として重要な役割を担っている大学公開講座は、今や全国で年間約3万講座が開講され、受講者数は約130万人を数えます。

平成3年に始まりました「宇都宮大学公開講座」は、平成29年度で27回目を迎えます。「地域に学び、地域に返す、地域と大学の支え合い」をモットーに、「知の拠点」として地域への生涯学習機会の提供、社会人の再教育の場として地域連携を積極的に推進し、大学の第3の機能となります「社会貢献」の役割を担っています。

ところで、2012年の「敬老の日」に総務省がまとめた推計人口によりますと、65歳以上の高齢者人口は3074万人で過去最多となりました。いわゆる「団塊の世代」が60歳代を迎え、人口比に対して大きな割合を占める高齢者が、今後より豊かな生活を営む上で、大学公開講座は地域の生涯学習関連機関・団体と連携を図り、地域社会の発展に寄与することが期待されています。

さて、「一挨一拶、その深淺を見んと要す。」という禅の教えがございます。「挨・拶」には「迫る・押す」という意味があり、本来は禅問答によって相手の深淺を計ることを意味します。地域と結びつき、大学独自の講座として発展していくためにも、宇都宮大学公開講座は、より幅広い年齢層の受講者の皆様より、「一挨一拶」の機会を戴けることを切望して止みません。

## Ⅱ 平成29年度公開講座一覧

No.	公開講座名	担当講師	ページ
無料	1 感じる、考える、そして伝えてみる。 —言葉を読み解く技術、言葉で表現する心意気—	地域連携教育研究センター 准教授 佐々木 英和 他2名	10
	2 新聞の舞台ウラ体験講座 —新聞では読めない新聞社のあれこれ—	毎日新聞社社長室次長 山科 武司 他4名	11
	3 男女共同参画はなぜ進まないの？	大阪国際大学准教授 谷口 真由美	12
	4 消費者力アップセミナー —自立した消費者を目指しましょう！—	栃木県くらし安全安心課職員 栃木県消費生活センター 消費生活相談員	13
	5 現地で学ぶ「宇都宮学」 —「武士もののふの夢が原」飛山城跡をたずねる—	宇都宮市文化財ボランティア協議会 会長 上野 とも子 他4名	14
	6 アイヌ文化を学ぶ	北海道大学特任助教 岡田 真弓 他2名	15
	7 栃木で考える防災と災害復興	教育学部教授 長谷川 万由美 他3名	16
	8 基盤教育特別講座 —「危機を見つめる力」—	基盤教育センター非常勤講師 松岡 猛 他3名	17
	9 コンピュータは数独パズルを解けるか？ —視覚化して理解する「学び直し数学」—	名誉教授 佐藤 禎宏	18-19
国際理解	10 韓国語講座 —入門・初級・中級—	国際学部非常勤講師 金 多希	20-22
	11 中国語講座 初級コース	国際学研究科博士後期課程 胡 哈斯其木格	23
教養・文化	12 書道 —初級・中級・上級・専門—	地域デザイン科学部教授 中島 宗皓	24-27
	13 芥川龍之介と菊池寛 —漱石の弟子たち—	名誉教授 作新学院大学客員教授 小池 清治	28
	14 第四次産業革命とグリム兄弟 —グリム兄弟を通して現代を考える—	名誉教授 橋本 孝	29
	15 暗号を通して数学を楽しむ	名誉教授 大関 清太	30
	16 始まりの科学	農学部教授 川崎 秀樹	31

	No.	講座名	担当講師	ページ
教養・文化	17	役に立つ気象学 －実生活にすぐ活用できる役立つ気象学－	農学部准教授 高橋 行継	32
	18	クラシック音楽への招待 4 －オーケストラ音楽の楽しみ方 4－	農学部准教授 高橋 行継 栃木県交響楽団 萩町 修	33
	19	フィットネスウォーキング －ポールウォーキング・ヨガとの出会いを通じて健康づくり、御縁づくり－	ヨガインストラクター 遠藤 綾乃 他2名	34
	20	基礎から学ぶ朗読講座 －初級・中級－	役者・朗読家 秋元 紀子	35-36
	21	「本当の自分」とは何か －「自分」の本性と健康の原点を探る－	元宇都宮大学客員教授 神長 善次	37
地域コミュニケーション	22	宇都宮城と蓮池 －中世のハスの再生－	教育学部教授 松居 誠一郎 他3名	38
	23	里山で楽しむランプリング －ぶらぶら歩きながら茂木の里山を撮り食べ語り合う－	農学部教授 大久保 達弘 他3名	39
	24	鳥獣管理士養成講座	名誉教授 小金澤 正昭 他9名	40
	25	地域コラムニスト養成講座 －絆と共感を生む情報発信とは？－	毎日新聞社経営企画室 山本 建 他2名	41
	26	「話しあいファシリテーション」の理論 と実践 2017 －「伝わる」ような「伝え方」を身につける－	地域連携教育研究センター 准教授 佐々木 英和	42
	27	アクティブ・ラーニングで構想し実践する リーダー論	地域連携教育研究センター 准教授 佐々木 英和 他4名	43
	28	音楽を通じたまちづくり －ドラムサークルファシリテーションの基礎－	教育学部教授 長谷川 万由美 他1名	44
	29	“栃木賢人”円仁の足跡と功績 －下野国で生まれ育った名僧の国内外の活躍－	地域デザイン科学部教授 高橋 俊守 他2名	45
	30	自然とともに	宇都宮里山遊び達人協会会長 和氣 博之	46
	31	民俗学からみた栃木 No.8 －栃木の住まいと暮らし－	栃木くらし文化研究所代表 柏村 祐司	47
32	いのちをいただきます －食と農の視点で、食卓から健康までを考える－	宇都宮大学認定食農ファシリテーター 和久井 隆 鈴木 知子	48	

### Ⅲ 平成29年度公開講座実施期間一覧表

No.	講 座 名	定員	受講料	4月			5月		
				上	中	下	上	中	下
1	感じる、考える、そして伝えてみる。 —言葉を読み解く技術、言葉で表現する心意気—	200	0						5/27～
2	新聞の舞台ウラ体験講座 —新聞では読めない新聞社のあれこれ—	200	0						
3	男女共同参画はなぜ進まないの？	200	0						
4	消費者カアップセミナー —自立した消費者を目指しましょう！—	20	0						
5	現地で学ぶ「宇都宮学」 —「武士もののふの夢が原」飛山城跡をたずねる—	30	0						
6	アイヌ文化を学ぶ	20	0						
7	栃木で考える防災と災害復興	20	0						
8	基盤教育特別講座 —「危機を見つめる力」—	20	0						6/23～7/21(
9	①コンピュータは数独パズルを解けるか？ 夏期 —視覚化して理解する「学び直し数学」—	15	0						6/7～7/5(水
	②コンピュータは数独パズルを解けるか？ 秋期 —視覚化して理解する「学び直し数学」—	15	0						
10	①初心者のための韓国語入門コース —はじめての韓国語—	15	10,000						6/7～8/
	②韓国語 初級コース —楽しい韓国語—	15	10,000						
	③韓国語 中級コース —もっと話せる韓国語—	15	10,000						
11	中国語 初級コース	20	5,000						6/2
12	①書道 初級コース	18	5,000						
	②書道 中級コース	12	5,000						
	③書道 上級コース	12	5,000						
	④書道 専門コース	12	5,000						
		— 4	—						



No.	講 座 名	定員	受講料	4月			5月		
				上	中	下	上	中	下
13	芥川龍之介と菊池寛 —漱石の弟子たち—	30	10,000						
14	第四次産業革命とグリム兄弟 —グリム兄弟を通して現代を考える—	15	10,000						
15	暗号を通して数学を楽しむ	15	10,000						
16	始まりの科学	20	5,000						
17	役に立つ気象学 — 実生活にすぐ活用できる役立つ気象学 —	20	5,000						
18	クラシック音楽への招待4 —オーケストラ音楽の楽しみ方 4—	20	5,000						
19	フィットネスウォーキング —ポールウォーキング・ヨガとの出会いを通じて健康づくり、 脚縁づくり—	30	5,000						
20	①基礎から学ぶ朗読講座 初級コース — みんなで朗読を楽しもう —	20	5,000						
	②基礎から学ぶ朗読講座 中級コース — みんなで朗読を楽しもう —	20	5,000						
21	「本当の自分」とは何か — 「自分」の本性と健康の原点を探る —	30	5,000				6/2	6/30	
22	宇都宮城と蓮池 — 中世のハスの再生 —	25	5,000						
23	里山で楽しむランプリング — ぶらぶら歩きながら茂木の里山を撮り食べ語り合う —	20	10,000						
24	鳥獣管理士養成講座	20	15,000						
25	地域コラムニスト養成講座 —絆と共感を生む情報発信とは?—	50	5,000						
26	「話しあいファシリテーション」の理論と実践 2017 — 「振わる」ような「振え方」を身につける—	15	15,000						5/
27	アクティブ・ラーニングで構想し実践するリーダー論	15	5,000						
28	音楽を通じたまちづくり — ドラムサークルファシリテーションの基礎 —	20	5,000						
29	“栃木賢人” 円仁の足跡と功績 — 下野国で生まれ育った名僧の国内外の活躍 —	30	5,000						
30	自然とともに	10	5,000						
31	民俗学からみた栃木 No.8 — 栃木の住まいと暮らし —	20	5,000						
32	いのちをいただきます —食と農の視点で、食卓から健康までを考える—	15	5,000						
		— 6	—						





## IV 受講手続き等について

### 1. 受講対象者

どなたでも受講できます。

### 2. 申込方法・申込期間

お申し込み～受講までの流れ

#### ① 受講申込み

平成29年4月1日(土)～4月30日(日) 必着

##### 【FAX・郵送】

受講申込書(巻末またはホームページからダウンロードできます。)に必要事項を記入しお申し込みください。

##### 【メール】

受講申込書をホームページからダウンロードし、メールに添付してお申し込みください。

申込み多数の場合は、抽選となりますのでご了承ください。

定員に達しない場合は、締め切り後も随時募集します。

#### ② 受講可否の通知

平成29年5月10日(水)より順次発送

#### ③ 受講料の納入

平成28年5月11日(木)～5月25日(木)

「受講通知」に記載されている指定口座にお振り込みください。  
詳細は「受講通知」にてご確認ください。

#### ④ 受講

受講確定後、講座開始日時の変更・中止などの特別な場合以外はご連絡いたしません。開講日に直接会場までお越しください。

### 3. 公開講座実施会場

平成29年度公開講座の詳細をご確認ください。

### 4. 公開講座修了証書の授与

所定の課程(全日程の3分の2以上の出席)を修了した方には修了証書を発行いたします。(有料講座のみ)

## 5. とちぎ県民カレッジ連携講座について

全ての講座は、とちぎ県民カレッジと連携しています。講座の修了者は、希望により、とちぎ県民カレッジから単位が認定されます。詳細は、栃木県総合教育センター生涯学習部（TEL 028-665-7206）へお問い合わせください。

## 6. 注意事項及びお願い

①受講料の払い戻しは、当センターの都合により受講不可能となった場合を除いて原則行いません。

②受講料の他にテキスト代、教材費、傷害保険料等が必要な講座があります。各講座の注意事項をご確認ください。尚、記載事項以外に必要な場合はご連絡いたします。

③受講申込者が最小開講人数6名に満たない場合、当該講座を中止させていただくことがあります。

④車で来校される方へ

※大学構内へ入構する際は、正門案内所で入構規制ゲート用パスカードを受領してください。パスカードがないと入構できません。

※全10回以上の講座を受講される場合は、入構許可証を発行いたします。受講申込書の車両番号欄に使用車両のナンバーをご記入ください。

※大学会館南側の一般駐車場に止めてください。

⑤3月1日現在で作成しておりますので、内容が変更される場合もあります。最新の内容はホームページにてご確認ください。

### 〈 お問い合わせ先 〉

宇都宮大学地域連携教育研究センター

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

TEL 028-649-5144

FAX 028-649-5145

E-mail [chiren@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp](mailto:chiren@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp)

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/cercc/>

(月～金 10:00～12:00/13:00～17:00)

### 〈 公開講座お申し込み先 〉

宇都宮大学地域連携教育研究センター

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

FAX 028-649-5145

E-mail [kouza@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp](mailto:kouza@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp)

期日 5月27日～7月22日 曜日 土曜日 時間帯 13:30～16:00

読売新聞社・宇都宮大学共催公開講座

## 1. 感じる、考える、そして伝えてみる。 —言葉を読み解く技術、言葉で表現する心意気—

### 担当講師

地域連携教育研究センター准教授	佐々木 英和
国際学部准教授	清水 奈名子
農学部教授	飯郷 雅之

### 講座の内容

たとえば、「希望的観測」と「希望そのもの」とは、似て非なるものです。十分に現実を見すえないまま希望的観測に従い、もっぱら前に突っ走るとすれば、簡単には戻れない絶望の地へと向かう旅路を辿ることになるかもしれません。逆に、希望をいったん脇に置いてでも、冷徹に現実を直視し尽くしてから歩き始めるほうが、時間がかかるようであっても、希望の地への近道を発見できることがあります。本講座では、こうした日常的に用いられる言葉へのこだわりを手がかりとしながら、ややもすると難解に思われがちな学術世界の深みと面白さを味わいます。

定員 200名  
受講料 無料  
プログラム 全3回

- | 月日          | テーマ  | 担当講師 |
|-------------|--|------|
| 1. 5月27日(土) | 「9.11」と「3.11」とを紡ぐ言葉<br>—「見たくない現実」は存在するのか?— | 清水   |
| 2. 6月17日(土) | 文学と科学とを紡ぐ言葉<br>—詩や恋文は科学的に書けるのか?—           | 飯郷   |
| 3. 7月22日(土) | 日常生活と学術界とを紡ぐ言葉<br>—人生目標は論理的に立てられるのか?—      | 佐々木  |

会場 5B21教室（峰町5号館B棟2階）  
その他

○3回連続講座ですので、毎回出席できる人の受講を優先します

期日 曜日 時間帯  
10月14日～12月2日 土曜日 13:30～15:30

毎日新聞社・宇都宮大学共催公開講座

## 2. 新聞の舞台ウラ体験講座

—新聞では読めない新聞社のあれこれ—

コネクター

地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和

### 担当講師

毎日新聞社社長室次長(「女の気持ち・男の気持ち」元選者)	山科 武司
毎日新聞東京本社編集編成局情報編成総センター校閲グループ	担当記者
毎日映画社メディア事業部	桑野 和之
毎日新聞東京本社技術本部長	三宅 直人
毎日新聞東京本社編集編成局社会部	高橋 昌紀

### 講座の内容

twitter で人気の「毎日新聞・校閲グループ」でのエピソードをはじめ、活版印刷や読者投書欄の舞台裏、映画ニュース、戦前の日本の風景を写し取った報道写真など、新聞には書いていない新聞社の舞台裏を堪能していただきます。

定 員 200名

受 講 料 無料

プログラム 全5回

月 日	テーマ	担当講師
1. 10月14日(土)	新聞投書欄の現場から	山科
2. 10月21日(土)	校閲／文字の匠の校正術	未定
3. 11月11日(土)	映画ニュースから見る高度経済成長	桑野
4. 11月25日(土)	活版印刷の面白さ	三宅
5. 12月2日(土)	ビジュアルでみる太平洋戦争	高橋

会 場 5B21教室(峰町5号館B棟2階)

期日 曜日 時間帯  
12月9日 土曜日 13:30~15:30

とちぎ男女共同参画センター連携事業

### 3. 男女共同参画はなぜ進まないの？

#### 担当講師

大阪国際大学准教授  
大阪大学非常勤講師  
全日本おばちゃん党代表代行 谷口 真由美

#### 講座の内容

大学で教鞭を執られるかたわら、オッサン中心の社会を変えるため Facebook 上に立ち上げた女性グループ「全日本おばちゃん党」が話題となっている谷口真由美さんをお招きし、人情味あふれる軽快な語り口で、男女共同参画や女性の活躍についてわかりやすくお話しいただきます。

定 員 200名

受 講 料 無料

プログラム 全1回 12月9日(土) 13:30~15:30

会 場 大学会館多目的ホール

そ の 他

申込方法 : 8月1日(火)より受付を開始します。  
パーティホームページ、電話、FAX、直接来館  
にてお申し込みください。先着順となります。

とちぎ男女共同参画センター事業推進課  
〒320-0071 栃木県宇都宮市野沢町4番地1(パーティ内)  
TEL 028-665-8323 FAX 028-665-8325  
<https://www.parti.jp/>

期日  
10月13日

曜日  
金曜日

時間帯  
10:00~15:00

栃木県県民生活部くらし安全安心課消費者行政推進室との共催

#### 4. 消費者力アップセミナー

—自立した消費者を目指しましょう！—

##### 担当講師

栃木県くらし安全安心課  
栃木県消費生活センター

職員  
消費生活相談員

##### 講座の内容

消費生活に関する基礎知識を習得し、消費者トラブルの未然（拡大）防止と自立した消費者を目指します。また、消費者被害防止の観点から地域における高齢者等の見守りを行うポイントを学びます。

定員 20名

受講料 無料

プログラム 全1回

月日

テーマ

1. 10月13日(金)

〈第1部〉10:00~12:00 最近の悪質商法

〈第2部〉13:00~15:00 高齢者を消費者被害から守るために

##### その他

- 第1部と第2部の両方を受講してください。
- 第1部と第2部の間に各自昼食をお取りください。  
教室での飲食もできます。

会場 地域連携教育研究センター

期日 曜日 時間帯  
11月7日～11月14日 火曜日 10:00～12:30

NPO法人飛山城跡愛護会との共催

## 5. 現地で学ぶ「宇都宮学」

－「武士もののふの夢が原」飛山城跡をたずねる－

### 担当講師

宇都宮市文化財ボランティア協議会会長

NPO法人飛山城跡愛護会とびやま歴史体験館 上野 とも子

NPO法人飛山城跡愛護会会員解説ボランティア

高田 幾・高橋 一彰

大野 昭二・吉澤 伸人

### 講座の内容

飛山城（国指定史跡）はNPO法人飛山城跡愛護会によって史跡公園ととびやま歴史体験館が管理運営されている。愛護会会員のボランティアガイド解説の案内で、鎌倉時代後半、芳賀高俊によって築城されたと伝えられる飛山城とその周辺の史跡をたずねる。

定員 30名

受講料 無料

プログラム 全2回

月日

テーマ

担当講師

1. 11月7日(火)国史跡 飛山城をめぐる 上野・高田・高橋
2. 11月14日(火) 飛山周辺の史跡をたずねる 上野・大野・吉澤

会場 「とびやま歴史体験館」

宇都宮市竹下町 380-1 TEL 028-667-9400

### その他

○雨天決行です。中止の場合のみ、各受講者に連絡をします。

○**傷害保険料 400円**を別途ご負担お願いします。

初回に集めますのでおつりのないようにお持ち下さい。

期日	曜日	時間帯
11月19日	日曜日	10:00~16:00

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構との共催

## 6. アイヌ文化を学ぶ

### 担当講師

北海道大学特任助教	岡田 真弓
地域デザイン科学部准教授	若園 雄志郎
民俗音楽演奏家	星野 工

### 講座の内容

アイヌ民族は日本国内各地に居住する先住民族です。ここではアイヌ民族の歴史と文化を知るとともに、実際のアイヌ文化に触れて日本の多様性について学びます。

定 員 20名

受講料 無料

プログラム 全1回

月 日 テーマ

1. 11月19日(日)

〈第1部〉講演 10:00~12:00

アイヌの歴史遺産に触れる 岡田  
—北海道の考古学と文化遺産研究から見たアイヌ文化—

〈第2部〉演奏 13:00~16:00

アイヌの音楽に触れる 星野

会 場 地域連携教育研究センター



期日 曜日 時間帯  
6月2日～6月23日 金曜日 13:30～16:00

社会福祉法人栃木県社会福祉協議会との共催

## 7. 栃木で考える防災と災害復興

### 担当講師

教育学部教授	長谷川 万由美
地域デザイン科学部准教授	石井 大一朗
地域デザイン科学部准教授	近藤 伸也
地域連携教育研究センター特任研究員	土崎 雄祐

### 講座の内容

栃木県内に甚大な被害をもたらした平成27年9月関東・東北豪雨における事例をもとに、防災とは何か、平時から私たちができることは何かを考えていきます。

定 員 20名

受 講 料 無料

プログラム 全4回

月 日	テーマ	担当講師
1. 6月2日(金)	地域防災・減災を考える	近藤
2. 6月9日(金)	災害復興と被災者支援	長谷川
3. 6月16日(金)	災害に強いまちづくり	石井
4. 6月23日(金)	災害復興とボランティア	土崎

会 場 地域連携教育研究センター

期日 曜日 時間帯  
5月30日～7月11日 月曜日 10:30～13:00

## 8. 基盤教育特別講座 — 「危機を見つめる力」 —

### 担当講師

基盤教育センター非常勤講師	松岡 猛
明治大学名誉教授	向殿政男
元運輸安全委員会委員	垣本 由紀子
横浜国立大学教授	野口和彦

### 講座の内容

本学の正規授業として開講している基盤教育科目の一部を、学外の方々に特別に無料で公開します。

科学技術の発展により高度・複雑化した社会では、私たちの身の回りには思いもよらない種々の危険が存在しています。これらの危険を察知し、その影響の程度を理解・判断する能力を身につけることを目的とした公開講座です。実際に生じた種々の分野での事例も取り上げ、安全・安心・リスクについての理解を深め、日常の生活において取るべき態度を醸成して頂ければと考えています。

定 員 20名

受 講 料 無料

プログラム 全5回

月 日	テーマ	担当講師
1. 6月23日(金)	危機と安全、安全の定義とリスク —絶対安全は存在しない、安心とはなにか—	向殿
2. 6月30日(金)	消費者と安全	松岡
3. 7月8日(土)	安全とヒューマンファクター	垣本
4. 7月14日(金)	社会安全実現のためのリスクマネジメント	野口
5. 7月21日(金)	どこまで安全なら良いか、安全目標	松岡

会 場 ラーニングコモンズ

期日 曜日 時間帯  
6月7日～7月5日 水曜日 14:00～16:00

## 9①. コンピュータは数独パズルを解けるか？ 夏期 —視覚化して理解する「学び直し数学」—

担当講師

名誉教授

佐藤 禎宏

### 講座の内容

長い間、Mathematica を使った数学入門やデータ処理の授業を行ってきた。学生から“数独を Mathematica で解けるか”の質問を受けたことをきっかけに数独を解くプログラムを作った。ソフトの使い方からはじめ“数独を解くプログラム”の解説を演習形式で行います。

定員 15名  
受講料 無料  
プログラム 全5回

月日

テーマ

1. 6月7日 (水) Wolfram Programming Lab の使い方と概観
2. 6月14日 (水) Mathematica のはじめ方と概観
3. 6月21日 (水) ドキュメントセンターの使い方とグラフィックス
4. 6月28日 (水) 数独を解くプログラムについて(1)
5. 7月5日 (水) 数独を解くプログラムについて(2)

会場 総合メディア基盤センター 峰キャンパス  
(峰町4号館C棟1階)

その他

- ソフトは Wolfram Cloud 上の Programming Lab を使用します。
- PC 端末を使用して演習形式で講義を進めます。
- 参考書：はやわかり Mathematica 第3版5刷 榊原 進 共立出版
- 佐藤 禎宏のブログ MMAys's blog を参考にしてください。  
<http://mmays.hatenablog.com/entry/2014/02/07/144539>  
Google で「なんでも Mathematica」を検索すると現れます。
- 数独に関してはこちらを参考にしてください。  
<http://mmays.hatenablog.com/entry/2013/11/25/122237>

※“数独”は株式会社ニコリの登録商標です。

期日 曜日 時間帯  
10月18日～11月15日 水曜日 14:00～16:00

## 9②. コンピュータは数独パズルを解けるか？ 夏期 —視覚化して理解する「学び直し数学」—

担当講師

名誉教授

佐藤 禎宏

### 講座の内容

長い間、Mathematica を使った数学入門やデータ処理の授業を行ってきた。学生から“数独を Mathematica で解けるか”の質問を受けたことをきっかけに数独を解くプログラムを作った。ソフトの使い方からはじめ“数独を解くプログラム”の解説を演習形式で行います。

定員 15名  
受講料 無料  
プログラム 全5回  
月日

### テーマ

1. 10月18日(水) Wolfram Programming Lab の使い方と概観
2. 10月25日(水) Mathematica のはじめ方と概観
3. 11月1日(水) ドキュメントセンターの使い方とグラフィックス
4. 11月8日(水) 数独を解くプログラムについて(1)
5. 11月15日(水) 数独を解くプログラムについて(2)

会場 総合メディア基盤センター 峰キャンパス  
(峰町4号館C棟1階)

### その他

- ソフトは Wolfram Cloud 上の Programming Lab を使用します。
- PC 端末を使用して演習形式で講義を進めます。
- 参考書：はやわかり Mathematica 第3版5刷 榊原 進 共立出版
- 佐藤 禎宏のブログ MMays's blog を参考にしてください。  
<http://mmays.hatenablog.com/entry/2014/02/07/144539>  
Google で「なんでも Mathematica」を検索すると現れます。
- 数独に関してはこちらを参考にしてください。  
<http://mmays.hatenablog.com/entry/2013/11/25/122237>

※“数独”は株式会社ニコリの登録商標です。

期日 曜日 時間帯  
6月7日～8月9日 水曜日 14:00～16:00

## 10①. 韓国語講座

コーディネーター

国際学部教授

丁 貴連

### 初心者のための韓国語入門コース

—はじめての韓国語—

担当講師

国際学部非常勤講師

金 多希

#### 講座の内容

初めて韓国語を学ぶ方を対象にする入門コースです。  
まずは基本となる文字（ハングル）の読み・書きをはじめ、韓国語で簡単な自己紹介ができることを目指します。  
\*言葉を支えている韓国の文化や韓国事情などについても触れていきます。

定員 15名  
受講料 10,000円  
プログラム 全10回

月日 テーマ

1. 6月7日(水) 韓国語と文字
2. 6月14日(水) 基本母音字・基本子音字(1)
3. 6月21日(水) 基本子音字(2)
4. 6月28日(水) 合成子音字・合成母音字
5. 7月5日(水) バッチム・連音化
6. 7月12日(水) いろいろなあいさつ・復習
7. 7月19日(水) 自己紹介-저는 학생입니다.
8. 7月26日(水) 指示代名詞-이것은 무엇입니까??
9. 8月2日(水) 家族-이 사람은 누구입니까?
10. 8月9日(水) 総まとめ

会場 地域連携教育研究センター

#### その他

テキスト：韓国語へ旅しよう（初級）李昌圭 朝日出版社

○第1回目にテキストの販売をいたします。必要な方は申込時に注文してください。

期日 曜日 時間帯  
8月23日～10月25日 水曜日 14:00～16:00

## 10②. 韓国語講座

コーディネーター

国際学部教授

丁 貴連

### 韓国語初級コース

－楽しい韓国語－

担当講師

国際学部非常勤講師

金 多希

#### 講座の内容

すでにハングルの読み・書きができる方を対象にする初級コースです。

基礎的な表現（文法）を習得しながら、読み・書き・聞き取りの力を伸ばせることを目指します。

\*言葉を支えている韓国の文化や韓国事情などについても触れていきます。

定員 15名  
受講料 10,000円  
プログラム 全10回

月日 テーマ

1. 8月23日(水) 入門コース復習
2. 8月30日(水) 位置-교실에 무엇이 있습니까?
3. 9月6日(水) 動詞-무엇을 합니까?
4. 9月13日(水) 方向と場所-어디에 갑니까?
5. 9月20日(水) 過去形-어제 무엇을 했습니까?
6. 9月27日(水) 漢字数詞-시험이 언제입니까?
7. 10月4日(水) 固有数詞-지금 몇 시입니까?
8. 10月11日(水) 買い物-얼마예요?
9. 10月18日(水) 勧誘-뭘 먹을까요?
10. 10月25日(水) 総まとめ

会場 地域連携教育研究センター

その他

テキスト：韓国語へ旅しよう(初級)李昌圭 朝日出版社

期日 曜日 時間帯  
11月8日～1月24日 水曜日 14:00～16:00

## 10③. 韓国語講座

コーディネーター

国際学部教授

丁 貴連

### 韓国語中級コース

—もっと話せる韓国語—

担当講師

国際学部非常勤講師

金 多希

#### 講座の内容

韓国語の初級コースで習得した文法や基本フレーズを確かめながら、積極的に話せる姿勢を身につけ、少しずつ表現力を養っていきます。自然に韓国語がもっと話せることを目指します。

\*言葉を支えている韓国の文化や韓国事情などについても触れていきます。

定員 15名  
受講料 10,000円  
プログラム 全10回

月日 テーマ

1. 11月8日(水) 初級コース復習
2. 11月15日(水) 理由・決心-바빠서 전화를 못 했어요.
3. 11月22日(水) 仮定・経験-취미가 뭐예요? (1)
4. 11月29日(水) 連体形-취미가 뭐예요? (2)
5. 12月6日(水) 意図・勧誘-인사동에는 어떻게 가지요? (1)
6. 12月13日(水) 許可・禁止-인사동에는 어떻게 가지요? (2)
7. 12月20日(水) 状況説明-감기는 다 나왔어요?
8. 1月10日(水) 意志・予定-연휴에는 뭘 할 거예요? (1)
9. 1月17日(水) 可能・不可能-연휴에는 뭘 할 거예요? (2)
10. 1月24日(水) 総まとめ

会場 地域連携教育研究センター

その他

テキスト：韓国語へ旅しよう（中級）李昌圭 朝日出版社

期日 曜日 時間帯  
6月20日～7月18日 火曜日 14:30～16:30

## 11. 中国語 初級コース

コーディネーター

国際学部教授

松金 公正

担当講師

国際学研究科博士後期課程

胡 哈斯其木格

### 講座の内容

近年、中国語の学習人口は増加しているが、一方で日本人にとって中国はいまだ近くて遠い国である。本講座では基礎中国語の学習を通じて、中国と日本との差異を考えていく。

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日 テーマ

1. 6月20日(金) 中国の暮らしの中での中国語
2. 6月27日(金) 中国語の発音
3. 7月4日(金) 中国の漢字、日本の漢字
4. 7月11日(金) 簡単な挨拶、会話
5. 7月18日(金) サバイバル中国語、ビジネス習慣

会場 地域連携教育研究センター



期日 曜日 時間帯  
6月1日～7月27日 木曜日 17:40～19:40

## 12①. 書道 初級コース

担当講師 地域デザイン科学部教授 中島 宗皓

### 講座の内容

本講座の目標は、「書の本道」を学ぶことです。書道は、「藝道」という日本独自の藝術思想によって発展し、今日的アートとは本質的に異なるものです。そこで、学校や塾で学んできたことを見直し、「一人でも学べる方法」をお話します。初級コースでは、「書道の基礎・基本」から始めます。

定員 18名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日	テーマ
1. 6月1日(木)	毛筆の特性と扱い方を見直してみる
2. 6月15日(木)	カタカナで書き方と学び方を考える
3. 6月29日(木)	楷書体の基礎と正しい書き方を学ぶ
4. 7月13日(木)	正しいひらがなの形を見直してみる
5. 7月27日(木)	古典的な楷書から臨書の方法を学ぶ

会場 峰町6号館2階(東)書道教室

### その他

- 初心者、経験者を問いません。(本学の公開講座「書道」を初めて受講される方に限ります。)
- 経験者でも初級から受講ください。(書道免許や等級などの資格は一切通用しません。)
- 毛筆と下敷きは指定します。その他の用具・用材は会場でも購入できます。
- 17時より教室で自習することができます。

期日 曜日 時間帯  
10月12日～12月14日 木曜日 17:40～19:40

## 12②. 書道 中級コース

担当講師 地域デザイン科学部教授 中島 宗皓

### 講座の内容

本講座の目標は、「書の本道」を学ぶことです。書道は、「藝道」という日本独自の藝術思想によって発展し、今日的アートとは本質的に異なるものです。そこで、学校や塾で学んできたことを見直し、「一人でも学べる方法」をお話します。中級コースでは、ひらがなと行書の基礎を学びます。

定員 12名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日	テーマ
1. 10月12日(木)	平仮名の正しい書き方を学ぶ
2. 10月26日(木)	行書体の正しい書き方を学ぶ
3. 11月9日(木)	行書の古典から臨書法を学ぶ
4. 11月30日(木)	古筆から仮名の臨書法を学ぶ
5. 12月14日(木)	草書とはどんな書体かを学ぶ

会場 峰町6号館2階(東)書道教室

### その他

- 本学の公開講座「書道(初級コース)」を修了された方に限りません。
- 経験者でも初級から受講ください。(書道免許や等級などの資格は一切通用しません。)
- 第5回到草書について学びます。上級コースへの準備として予定しています。
- 17時より教室で自習することができます。

期日 曜日 時間帯  
6月8日～10月5日 木曜日 17:40～19:40

## 12③. 書道 上級コース

担当講師 地域デザイン科学部教授 中島 宗皓

### 講座の内容

本講座の目標は、「書の本道」を学ぶことです。書道は、「藝道」という日本独自の藝術思想によって発展し、今日的アートとは本質的に異なるものです。そこで、学校や塾で学んできたことを見直し、「一人でも学べる方法」をお話します。上級コースでは、篆書・隸書・草書を古典から学び、第5回には五体から得意な書体を一つ選び、半切サイズに展開してみます。

定員 12名

受講料 5,000円

プログラム 全5回  
月日

### テーマ

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1. 6月8日(木)  | 楷書体と行書体の臨書を復習する |
| 2. 6月22日(木) | 篆書体の古典臨書と表現法を学ぶ |
| 3. 7月6日(木)  | 隸書体の古典臨書と表現法を学ぶ |
| 4. 7月20日(木) | 草書体の古典臨書と表現法を学ぶ |
| 5. 10月5日(木) | 半切サイズに展開する方法を学ぶ |

会場 峰町6号館2階(東)書道教室

### その他

- 本学の公開講座、「書道(中級コース)」を修了された方に限ります。
- 経験者でも初級から受講ください。(書道免許や等級などの資格は一切通用しません。)
- 上級コースはテキスト(1,000円)を使用します。その他の用具・用材は教室で購入できます。
- 第4回に半切臨書の課題を出します。専門コースへの準備として予定しています。
- 17時より教室で自習することができます。

期日 曜日 時間帯  
10月20日～12月21日 木・水曜日 17:40～19:40

## 12④. 書道 専門コース

### 担当講師

地域デザイン科学部教授

中島 宗皓

### 講座の内容

書道は「藝道」という日本独自の藝術思想によって発展し、今日的アートとは本質的に異なる。本講座の目標は、「書の本道」を学び、書道をより身近なものにすることである。専門コースでは、各自が進める制作（個別テーマ）への助言を行う。

定員 12名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日

テーマ

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. 10月19日(木) | 課題作品の鑑賞から表現法を学ぶ |
| 2. 11月2日(木)  | 個別課題による作品制作 その1 |
| 3. 11月16日(木) | 個別課題による作品制作 その2 |
| 4. 12月7日(木)  | 個別課題による作品制作 その3 |
| 5. 12月21日(木) | 個別課題作品の相互批評会    |

会場 峰町6号館2階（東）書道教室

### その他

- 本学の公開講座「書道（上級コース）」を修了された方に限りません。
- 初回到半切以上、または相当程度の作品（臨書を含む）を持参ください。
- 専門コースは、毎年何度でも受講できます。（制作の時間としてお考えください。）
- 17時より教室で自習することができます。

期日 曜日 時間帯  
6月1日～10月5日 木曜日 10:00～12:00

### 13. 芥川龍之介と菊池寛

—漱石の弟子たち—

#### 担当講師

名誉教授・作新学院大学客員教授 小池 清治

#### 講座の内容

漱石の晩年の弟子、芥川龍之介と菊池寛の文学的業績を楽しむ。  
理知的芥川と常識家菊池寛の文学を比較する。

定員 30名  
受講料 10,000円  
プログラム 全10回

月日 テーマ

1. 6月1日(木) 芥川龍之介年譜・羅生門・藪の中
2. 6月8日(木) 鼻・芋粥
3. 6月15日(木) 地獄変・戯作三昧・蜘蛛の糸
4. 6月22日(木) 蜜柑・トロッコ・杜子春
5. 6月29日(木) 舞踏会・秋
6. 10月5日(木) 枯野抄・芭蕉雑記・続芭蕉雑記
7. 10月12日(木) 齒車・河童
8. 10月19日(木) 大導寺信輔・或阿呆の一生
9. 10月26日(木) 菊池寛年譜・芥川の事ども・半自叙伝 等
10. 11月2日(木) 入れ札・忠直卿行状記・恩讐の彼方に

会場 地域連携教育研究センター

#### その他

○芥川の作品は文庫本で、菊池の作品は全集等で予習してください。

期日  
7月6日～2月8日

曜日  
木曜日

時間帯  
13:30～15:30

## 14. 第四次産業革命とグリム兄弟

ーグリム兄弟を通して現代を考えるー

担当講師

名誉教授

橋本 孝

講座の内容

今いわれている第四次産業革命がもたらす経済格差と管理社会。グリム兄弟が自ら経験した当時の産業革命を考察しながら、現在をどう切り抜けていくかを共に考えてみませんか。

定 員 15名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

月 日

テーマ

1. 7月6日(木) フランス革命とグリム兄弟
2. 7月13日(木) ナポレオン支配下のドイツ
3. 7月20日(木) ウイーン会議に参加した兄グリム
4. 7月27日(木) カッセルでグリム兄弟たちの仕事
5. 8月3日(木) ゲッティンゲン大学への招聘
6. 1月11日(木) ハノーファー国王とは
7. 1月18日(木) アウグスト公と憲法
8. 1月25日(木) ゲッティンゲン七教授事件
9. 2月1日(木) ドイツ憲法への道
10. 2月8日(木) 現代社会とグリム兄弟

会 場 地域連携教育研究センター

期日 曜日 時間帯  
6月8日～12月7日 木・月曜日 13:30～15:30

## 15. 暗号を通して数学を楽しむ

担当講師

名誉教授

大関 清太

### 講座の内容

暗号と聞くと推理小説の話かと思いますが現代では携帯電話から宇宙船まで暗号が大活躍です。しかも小学校から高校までの算数と数学で成り立っています。一度からくりを探ってみましょう。

定員 15名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

月日 テーマ

1. 6月8日(木) 暗号の種類
2. 6月22日(木) 余りだけの世界1
3. 7月6日(木) 余りだけの世界2
4. 7月20日(木) シーザーの暗号
5. 8月3日(木) ツルカメ算から暗号の弱点を考える
6. 10月12日(木) 豆腐から最新の暗号へ
7. 10月26日(木) 素数が大活躍
8. 11月9日(木) かけ算の世界
9. 11月20日(月) 鍵を公開した暗号
10. 12月7日(木) リュックサックを使った暗号

会場 地域連携教育研究センター

期日	曜日	時間帯
8月26日～9月23日	土曜日	10:00～12:00

## 16. 始まりの科学

担当講師

農学部教授

川崎 秀樹

### 講座の内容

私たちの過去・未来を知るために、私たちに関わる事柄がどのようにして始まってきたのかを解説していきます。

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日	テーマ
----	-----

1. 8月26日(土) 地球の始まり、生命の始まり
2. 9月2日(土) 鳥類、哺乳類の始まり
3. 9月9日(土) 人類の始まり
4. 9月16日(土) 文明の始まり
5. 9月23日(土) 日本と日本人の始まり

会場 地域連携教育研究センター



期日 曜日 時間帯  
11月21日～12月19日 火曜日 14:00～16:00

## 17. 役に立つ気象学

—実生活にすぐ利活用できる役立つ気象学—

担当講師

農学部准教授

高橋 行継

### 講座の内容

日本ほど四季の変化が明瞭で、天気の変化が激しい国は世界的にみても少ないです。本講座では気象に関心を持ってもらい、巷に溢れる気象情報を上手に活用していく知識をお教えします。3年連続シリーズの2年目です。

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日 テーマ

1. 11月21日(火) 四季の気象「春」
2. 11月28日(火) 四季の気象「夏」
3. 12月5日(火) 四季の気象「秋」
4. 12月12日(火) 四季の気象「冬」
5. 12月19日(火) 気象災害

会場 地域連携教育研究センター

期日 曜日 時間帯  
8月22日～9月7日 月・火・水・木 19:00～21:00

## 18. クラシック音楽への招待 4 ーオーケストラ音楽の楽しみ方 4ー

### 担当講師

農学部准教授  
栃木県交響楽団

高橋 行継  
荻町 修

### 講座の内容

クラシック音楽は「学校で教わる音楽」という堅苦しいイメージからか愛好者が少ないが、音楽の1ジャンルとしてより親んでもらうことを狙いとする。講座ではオーケストラ音楽を取り上げ、前半はオーケストラ生演奏を通じて、指揮者のトークで知られざるオーケストラ音楽の内側を紹介する。後半は室内楽生演奏によりオーケストラの楽器紹介、アマチュア奏者からみたオーケストラについて語る。

定 員 30名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ	担当講師
1. 8月22日(火)	オーケストラの楽しみ方(1)	荻町・高橋
2. 8月23日(水)	オーケストラの楽しみ方(2)	荻町・高橋
3. 9月4日(月)	楽器紹介(木管楽器)、オーケストラの基礎知識	高橋
4. 9月6日(水)	楽器紹介(金管楽器)、アマチュア音楽(1)	高橋
5. 9月7日(木)	楽器紹介(弦楽器)、アマチュア音楽(2)	高橋

### 会 場

8月22日(火)・23日(水) 宇都宮大学峰ヶ丘講堂  
9月4日(月)・6日(水)・7日(木) 地域連携教育研究センター

期日 曜日 時間帯  
6月10日～10月14日 土曜日 14:00～16:00

## 19. フィットネスウォーキング

ーポールウォーキング・ヨガとの出会いを通じて健康づくり、御縁づくりー

コーディネーター

地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和

担当講師

ヨガインストラクター

遠藤 綾乃

ポールウォーキングコーチ

山形 正巳

コーディネーター

嶋田 望

講座の内容

ヨガ・ポールウォーキングの運動との出会いを通じ健康づくり、仲間との出会いづくり。毎日の生活に健康を取り入れるための工夫を学び、日常生活でのやりがいと心身の向上を目指す。

- ・ウォーキング効果を高めるヨガ体操
- ・2本杖を使った効果的なポールウォーキングの基礎と実践を学ぶ

定員 30名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日	テーマ	担当講師
1. 6月10日(土)	ポールウォーキングで健康・仲間づくり	山形・島田
2. 7月8日(土)	ヨガの基本	遠藤・島田
3. 8月5日(土)	ウォーキング効果を高める体作り	遠藤・島田
4. 9月9日(土)	2本杖ウォーキング基礎と実践	山形・島田
5. 10月14日(土)	ポールウォーキングの運動機能改善	山形・島田

会場 UUプラザ・大学構内（散歩道など）

その他

- 費用 : ヨガマットレンタル代 100円/1回  
: 専用2本杖ポールレンタル代 500円/1回
- 実技がある日は動きやすい服装でお越しください。
- 飲み物やタオルなどご用意ください。

期日 曜日 時間帯  
6月16日～10月13日 金曜日 15:30～17:30 他

## 20①. 基礎から学ぶ朗読講座 初級コース

—みんなで朗読を楽しもう—

コーディネーター  
地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和

担当講師  
役者・朗読家 秋元 紀子

### 講座の内容

朗読に興味があり、これから始めてみたい方のコースです。自分の本当の声を探るところから始まります。

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日 テーマ

1. 6月16日(金) 自分の本当の声をみつける
2. 7月21日(金) 声の仕組みと発声について
3. 8月18日(金) 滑舌練習
4. 9月15日(金) 字を読みあげるのではなく、語る。
5. 10月13日(金) 朗読の発表 (13:00～15:00)

会場  
6月・7月・10月 UUプラザ  
8月・9月 峰が丘講堂

### その他

○簡単なストレッチをしますので、動きやすい服装でお越しください。

期日 曜日 時間帯  
10月13日～2月16日 金曜日 15:30～17:30

## 20②. 基礎から学ぶ朗読講座 中級コース

—みんなで朗読を楽しもう—

コーディネーター  
地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和

担当講師  
役者・朗読家 秋元 紀子

### 講座の内容

朗読や読み聞かせの経験があり、より深く勉強したい方のコースです。

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

- | 月日           | テーマ          |
|--------------|--------------|
| 1. 10月13日(金) | 声の仕組みと発声について |
| 2. 11月17日(金) | 間の取り方        |
| 3. 12月15日(金) | 人に伝える意識      |
| 4. 1月19日(金)  | 読解力          |
| 5. 2月16日(金)  | 朗読の発表        |

会場  
10月・12月・1月・2月 UUプラザ  
11月 地域連携教育研究センター

### その他

○簡単なストレッチをしますので、動きやすい服装でお越しください。

期日  
6月2日～6月30日

曜日  
金曜日

時間帯  
16:00～18:00

## 21. 「本当の自分」とは何か

－「自分」の本性と健康の原点を探る－

### 担当講師

元宇都宮大学客員教授

神長 善次

### 講座の内容

「自分の本性」の核心となる“場”（＝「本当の自分」の場）はどこにあるのか、そして西欧、インド、日本的思考における「場の原理」の違いとは何かを学ぶ。併せて「自分」を強化する「健康力」の原点を検証する。

定員 30名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日

テーマ

1. 6月2日(金) 本性の原理1 (西欧、インド)
2. 6月9日(金) 本性の原理2 (日本、現代科学)
3. 6月16日(金) 「本当の自分」とは何か
4. 6月23日(金) 「健康力」の原点は何か
5. 6月30日(金) 「自己鍛錬」に思うこと

会場 地域連携教育研究センター

期日 曜日 時間帯  
7月16日～10月22日 金・土・日 13:00～17:00

宇都宮城跡蓮池再生検討委員会との共催

## 22. 宇都宮城と蓮池 9

—中世のハスの再生—

### 担当講師

教育学部教授	松居誠一郎
雑草と里山の科学教育研究センター准教授	西尾孝佳
宇都宮城跡蓮池再生検討委員会事務局長	印南 洋造
元ニューヨーク植物園園芸部主任	足立 五作雄
館林城の再建をめざす会会長	田中 茂雄

### 講座の内容

江戸期の絵図には蓮池などの記述があったことから、蓮池跡には必ずや蓮の実があるものと、多くの市民の協力をいただき蓮の実を発見しました。

中世後期以降とされる蓮の実から、平成23年7月に淡紅色の綺麗な花が開花しました。この講座では宇都宮城の蓮池に関する宇都宮の文化等を多面的に発掘し報告します。

定員 25名  
受講料 5,000円  
プログラム 全5回

月日	テーマ	担当講師
1. 7月16日(日)	歴史と文化を活かし、まちを元気に(学外)	田中
2. 10月20日(金)	ガーデニング植物と雑草化	西尾
3. 10月20日(金)	蓮池周辺の自然環境IX	松居
4. 10月21日(土)	ニューヨークにおける菊花展示	足立
5. 10月22日(日)	我家で蓮を育てる	印南

会場 大学会館トークルーム I

7月16日(日) 大学バスを利用します。詳細は後日郵送します。

10月20日(金) 13:00～17:00

10月21日(土) 14:30～16:30

10月22日(日) 13:00～15:00

### その他

○**傷害保険料 200円**を別途ご負担をお願いします。初回に集めますので、おつりのないようにお持ちください。他の実費等につきましても、各自ご負担願います。

### ○蓮写真展

日時：10月20日・21日 9時～16時、22日 9時～14時

場所：大学会館多目的ホール

※大手先生による作品講評

10月21日(土)13時～14時 大学会館トークルーム I

期日 曜日 時間帯  
6月10日～12月9日 土曜日 9:00～14:00

雑草と里山の科学教育研究センターとの共催  
**23. 里山で楽しむランブリング**  
—ぶらぶら歩きながら茂木の里山を撮り食べ語り合う—

### コーディネーター

雑草と里山の科学教育研究センター 平井 雅世

### 担当講師

農学部教授 大久保 達弘

地域デザイン科学部教授 原田 淳

里山記録写真家 柳下 征史

たかばたけグリーンツーリズム協議会

虹色の里あじ彩協議会・青梅協議会

協力 茂木町 道の駅もてぎ

### 講座の内容

茂木町の里山を、ゆっくり歩きながら季節ごとの風景や自然を楽しみ、写真に収め、地域ならではの食材を味わい、地元の方々と語りあう4回の日帰りツアーです。初夏は、旬の野菜を収穫し、八溝しする(イノシシ肉)を使ったカレーづくりを行います。夏は野草を採取した苔玉づくり、秋には、新そばでそば打ちを行います。また、里山記録写真家と一緒に、茂木の里山をぶらぶら歩きながら、素敵な写真の写し方を教えていただきます。最終回は、各自が撮りためた写真を「ふみの森もてぎ」のギャラリーにて展示し、フォトコンテストを行います。里山の魅力を満喫できるプログラムです。

定員 20名  
受講料 10,000円  
プログラム 全4回

月日 テーマ 担当講師

1. 6月3日(土) かまど炊きごはんとうの食材でのカレーづくり (昭和ふるさと村)  
大久保・原田・平井・柳下・たかばたけグリーンツーリズム協議会
2. 7月15日(土) 苔玉づくり、ビザづくり、ブルーベリーの収穫と夏の里山散策 (河又、竹原)  
大久保・原田平井・虹色の里あじ彩協議会
3. 11月4日(土) そば打ちと秋の里山散策 (青梅) 大久保・原田・平井・青梅協議会
4. 12月9日(土) 「私の里山」フォトコンテストとまちなか散策 大久保・原田・平井

会場 学外 (大学のバスを利用します。詳細は後日郵送します。)

### その他

○傷害保険料 800円をご負担お願いします。初回に集めます。○帰路は「道の駅もてぎ」に立ち寄ります。○実費として各回 2000円程度必要です。昼食は、地元産の食材を使用したお料理をいただきます。○講座で撮った写真を12月初旬より「ふみの森もてぎ」内ギャラリーに展示します。フォトコンテストへの参加は自由です。画像処理はお手伝いします。



期日 曜日 時間帯  
6月3日～9月23日 土曜日 10:00～17:00

(一般社団法人)鳥獣管理技術協会との共催

## 24. 鳥獣管理士養成講座

### 担当講師

名誉教授	小金澤 正昭
農学部教授	杉田 昭栄
地域デザイン科学部教授	高橋 俊守
鳥獣管理技術協会	辻岡 幹夫
鳥獣管理士	高橋 則夫
農林水産省中央農業総合研究センター専門員	仲谷 淳
長岡技術科学大学准教授	山本 麻希
新潟大学農学部助教	望月 翔太
日本獣医生命科学大学教授	羽山 伸一
鳥獣管理士	阪本 勝憲

### 講座の内容

農作物や森林被害、生活安全など、全国各地で深刻化しつつある、人と野生動物の問題を解消するために必要な知識と技術を学びます。地域の鳥獣被害を自治体や専門家らと連携して解決する「鳥獣管理士」を目指す方を対象にしています。修了すると、一般社団法人鳥獣管理技術協会が実施する鳥獣管理士(3級)資格認定試験の受験資格が得られます。

定員 20名 受講料 15,000円

プログラム 全15回

月日	テーマ	担当講師
1. 6月3日(土)	野生鳥獣管理の基礎と被害防止技術	小金澤
2. 6月3日(土)	自治体による鳥獣対策の現状と課題	辻岡
3. 6月3日(土)	鳥獣管理と地域連携	高橋(俊)
4. 6月10日(土)	鳥獣被害の現場(学外学習)	高橋(則)
5. 8月19日(土)	野生鳥獣の生態と保護管理	小金澤
6. 8月19日(土)	イノシシによる農作物被害と管理	仲谷
7. 8月19日(土)	サルによる農作物被害と管理	望月
8. 8月26日(土)	外来種による被害と管理	羽山
9. 8月26日(土)	カワウによる被害と管理	山本
10. 9月16日(土)	鳥獣被害と対策の実際(学外学習)	阪本
11. 9月23日(土)	集落環境診断と住民意識	高橋(俊)
12. 9月23日(土)	シカによる森林生態系被害と管理	小金澤
13. 9月23日(土)	カラスによる被害と管理	杉田

会場 地域連携教育研究センター  
その他

○**傷害保険料400円**をご負担お願いします。初回に集めます。講義と学外学習から構成されています。講義、学外学習ともに10時から17時までです。学外学習では、水田あぜ道や林の中を歩きます。長靴をご用意ください。

期日  
8月5日～9月30日

曜日  
土曜日

時間帯  
13:30～15:30

## 25. 地域コラムニスト養成講座

—絆と共感を生む情報発信とは?—

コディネーター

地域デザイン科学部教授

大森 玲子

### 担当講師

毎日新聞社経営企画室

山本 建

毎日新聞東京本社編集編成局写真映像報道センター

高原 克行

毎日新聞社社長室次長（「女の気持ち・男の気持ち」元選者）山科 武司

### 講座の内容

新聞を開くとき、多くの人が正確な情報を得るだけでなく、社会の絆や共感を得ることを目的としています。地域のつながりをはぐくみ、価値を再発見することが求められている今、絆と共感を生む情報発信について考え、自ら発信する体験にチャレンジしてみませんか。投書欄の元担当者らが丁寧に指導いたします。

定 員 50名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ	担当講師
1. 8月5日(土)	オリエンテーリング	山本
	新聞投書欄の現場から／絆や共感を生むテーマとは?	山科
2. 8月19日(土)	受け入れられる文章表現方法	山本
3. 9月2日(土)	伝わる写真撮影術	未定
4. 9月16日(土)	インタビュー/大切なのは準備とアドリブ	高原
5. 9月30日(金)	作品発表・評価	山科・山本

会 場 ラーニングcommons 2

期日 5月30日～11月14日 曜日 火曜日 時間帯 18:45～20:45

## 26. 「話しあいファシリテーション」の理論と実践 2017 －「伝わる」ような「伝え方」を身につける－

担当講師 地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和

### 講座の内容

誰もが簡単にやれているようでいて、実際には案外と成立していないのが「話しあい」です。本講座は、話しあいを「話しこみ」・「黙りあい」・「言いあい」の域にとどめず、生産性の高い営みへと高めていくための基本姿勢や技法などを身につけることが目標です。

定員 15名  
受講料 15,000円  
プログラム 全15回

### 月日 テーマ

1. 5月30日(火) 「ファシリテーション」とは何か?
2. 6月6日(火) 「聞く・聴く・訊く」の深みと広がり
3. 6月13日(火) 「伝える」と「伝わる」との段差
4. 6月20日(火) プレゼンテーション洗練とPR戦略
5. 6月27日(火) ソリューション志向の話しあいの基礎
6. 7月4日(火) ソリューション志向の話しあいの実践
7. 7月11日(火) クリエーション志向の話しあいの基礎
8. 7月18日(火) クリエーション志向の話しあいの実践
9. 10月3日(火) 「話しあいファシリテーション」の実践
10. 10月10日(火) 「自己表出と仲間づくり」志向の話しあい
11. 10月17日(火) 文章作成技術を応用した会議運営
12. 10月24日(火) 「Why? What? How?」の会議運営
13. 10月31日(火) 「現実直視・問題発見」と「理想追求・方法創造」
14. 11月7日(火) 「メタ会議」の意義と効用
15. 11月14日(火) 「話しあいファシリテーター」の役割

会場 地域連携教育研究センター  
その他

○プログラムを体系的に編成している都合上、第1回目(5月30日)からの受講を強くお勧めしています。また、最後まで続けて出席できる人の受講を優先しています。

期日  
12月5日～1月23日

曜日  
火曜日

時間帯  
18:45～20:45

## 27. アクティブラーニングで構想・実践するリーダー論 －「上から目線」より「お互いの尊びあい」が有効な理由－

### 担当講師

地域連携教育研究センター准教授  
経営コンサルタント  
(株)クローバー 教育事業部部長  
栃木県男女共同参画推進員  
NPO法人かぬま市民活動サポーターズ

佐々木 英和  
手塚 修一  
柏木 聖子  
菅谷 浩  
渡辺 博和

### 講座の内容

仰々しい言い方をすれば、世界史的に見て、かつてないほどリーダーの在り方が根底から問われている時代はないかもしれません。しかし他方で、大上段に構えて理想論を語ることだけが、問題解決の唯一の思考法だというわけではありません。本講座は、「リーダーとは、こうあるべきだ」と上から諭すやり方ではなく、受講者が話しあいやワークショップに参画しながら、身近な素材を用いて身近な方法で参加体験的に学ぶというやり方を基軸として、リーダーやリーダーシップについて構想しようと試みる実験的講座です。

定 員 15名

受 講 料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ	担当講師
1. 12月5日(火)	学び方を学ぶ、考え方を考える	佐々木
2. 12月12日(火)	「魅力的なリーダー」とは何か?	柏木・菅谷
3. 12月19日(火)	「必要なリーダー」と「効果的なリーダー」	渡辺・手塚
4. 1月16日(火)	リーダーシップの必要条件と十分条件	菅谷・渡辺
5. 1月23日(火)	リーダー育成の方法論	手塚・柏木

会 場 地域連携教育研究センター  
そ の 他

○プログラムを体系的に編成している都合上、第1回目(12月5日)からの受講を強くお勧めしています。また、5回とも続けて出席できる人の受講を優先しています。

期日 曜日 時間帯  
6月3日～7月1日 金曜日 13:00～15:30

## 28. 音楽を通じたまちづくり ードラムサークルファシリテーションの基礎ー

### 担当講師

教育学部教授  
DC-LAB主宰

長谷川 万由美  
三原 典子

### 講座の内容

音楽を通じてまちづくりを進めてみませんか。  
非言語の共感と共鳴をリズムを通じて体感できるドラムサークルファシリテーションの基礎を実践的に学びます。

定 員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全4回

月 日 テーマ

1. 9月16日(土) ドラムサークルとは
2. 10月14日(土) ファシリテーションの基本を学ぶ
3. 11月11日(土) ドラムサークルの心身への効果
4. 12月9日(土) ドラムサークルの実際

会 場 地域連携教育研究センター

### そ の 他

- 打楽器の演奏経験が全くなくても大丈夫です。
- 動きやすい服装でお越しください。

期日 曜日 時間帯  
11月25日～12月9日 土曜日 10:00～12:00 他

## 29. “栃木賢人” 円仁の足跡と功績

— 下野国で生まれ育った名僧の国内外の活躍 —

### コーディネーター

地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和

### 担当講師

地域デザイン科学部教授 高橋 俊守  
栃木県博物館特別研究員 本田 諭  
小野寺山転法輪院大慈寺住職 林 慶仁

### 講座の内容

平安時代に活躍した慈覚大師・円仁(794～864年)は、日本仏教の礎を築いた名僧として有名です。円仁は下野国に生まれ、9歳から15歳まで大慈寺(栃木市)で修行をした後、比叡山延暦寺に赴き、開祖の最澄に師事しました。円仁は日本での地位を確立してからもなお45歳で唐に渡り、9年間の求法の旅を経て、世界三大旅行記の一つとされる『入唐求法巡礼行記』を著しました。本講座では、栃木県で生まれ育った賢人の一人として円仁に焦点を当て、その生涯と足跡を辿ります。

定員 30名

受講料 5,000円

プログラム 全3回

月日	テーマ	担当講師
1. 11月25日(土)	円仁と栃木県	高橋・林
2. 12月2日(土)	円仁の仏教芸術	本田
3. 12月9日(土)	円仁修行の寺めぐり(学外)	高橋・林

会場 地域連携教育研究センター  
9月16日 学外研修 9時～16時  
大学のバスを利用します。

### その他

- 傷害保険料200円をご負担をお願いします。初回に集めます。
- 学外研修の昼食は実費をご負担願います。

期日	曜日	時間帯
9月27日～11月12日	水曜日	19:00～21:00
	日曜日	9:30～13:30

### 30. 自然とともに

#### コーディネーター

地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和

#### 担当講師

宇都宮里山遊び達人協会会長 和氣 博之

#### 講座の内容

近年は異常気象が多く発生し、私達の暮らしに多大な影響を及ぼしています。本講座では自然の恵みに感謝すると共に、厳しい自然にどのように対応していくかを考えていきます。

定員 10名  
受講料 5,000円  
プログラム 全3回

月日 テーマ

1. 9月27日(水) オリエンテーション(19:00～21:00)
2. 10月1日(日) 秋を食べよう  
～収穫と野外料理～ (学外)
3. 11月12日(日) 焚き火を囲んでみんなで語ろう  
～非常時に役立つ知識と実践～ (学外)

#### 会場

9月27日 地域連携教育研究センター

10月1日・11月12日 学外

大学のバスを利用します。

正門案内所前 9:20 集合、9:30 出発です。

#### その他

○**傷害保険料 400円**と**実費 1,000円**をご負担お願いします。

初回に集めますのでおつりのないようにお持ち下さい。

○ご家族内で小・中学生までは無料で参加できます。

(お子さまも傷害保険は加入していただきます。)

○2・3回は野外活動のできる服装でお越しください。

昼食は自分たちで作って食べますので、お弁当は必要ありません。

期日	曜日	時間帯
9月5日～10月3日	火曜日	13:30～15:30

### 3 1. 民俗学からみた栃木No.8

－栃木の住まいと暮らし－

#### コーディネーター

地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和

#### 担当講師

栃木くらし文化研究所代表 柏村 祐司

#### 講座の内容

栃木県内には、「日光東照宮の百物揃い千人武者行列」や「鹿沼市今宮神社ぶっつけ祭り」、「烏山山上げ祭り」等全国的にも名の知れた祭りが数多くある。ここでは栃木県内の代表的な祭りについてその由来、祭りの内容、祭りの果たす役割等について映像を交えながら解説するものである。

定 員 20名

受 講 料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ
-----	-----

1. 9月5日(火) 享保年間民家絵図に見る農民の住まい
2. 9月12日(火) 古民家に見る壁のない開放的住まい
3. 9月19日(火) 国重文岡本家住宅に見る接客の知恵
4. 9月26日(火) 洪水との闘い・水塚の構築
5. 10月3日(火) 石屋根への憧れ・石造民家発展の歴史

会 場 地域連携教育研究センター



期日  
8月5日～12月2日

曜日  
土曜日

時間帯  
13:30～15:30

### 32. いのちをいただきます

—食と農の視点で、食卓から健康までを考える—

#### 担当講師

宇都宮大学認定 食農ファシリテーター 鈴木 知子  
宇都宮大学認定 食農ファシリテーター 和久井 隆

#### 講座の内容

放射能汚染により、食と健康への関心が高まる中、自然栽培による野菜の育て方から、個々の体質に合った食物の選び方、免疫力を上げる生活習慣、そしてスピリチュアルケアを含んだ心の健康法まで幅広く学びます。

定 員 15名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日 テーマ

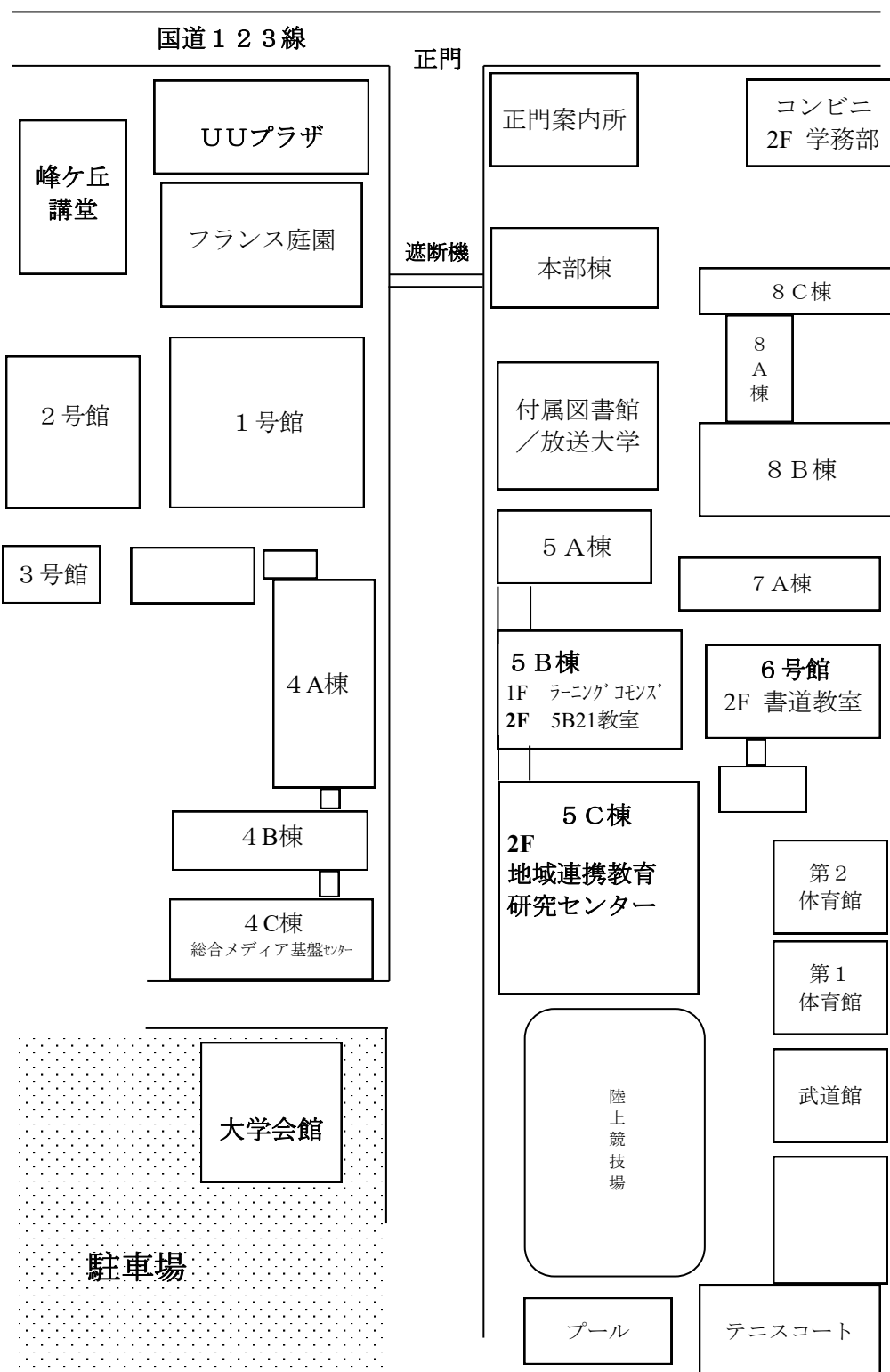
1. 8月5日(土) 畑の放射能汚染と対策
2. 9月2日(土) 大きいことは良いことか?
3. 10月7日(土) 自己免疫力を守る
4. 11月4日(土) あなたの体質は?
5. 12月2日(土) 自然の力・信じる力

会 場 地域連携教育研究センター

#### そ の 他

- 材料費として、別途2,000円が必要です。  
初回に集めますのでおつりのないようにお持ち下さい。
- 自然栽培で育った旬の野菜を味付け無しで食べていただき、毎回、自然栽培の野菜のお土産付きです。
- プログラムとは別に、希望者は自然栽培の畑(鹿沼市)をご案内します。

宇都宮大学構内建物配置図 (峰キャンパス)



## 平成29年度 宇都宮大学 公開講座 受講申込書

\* 下記にご記入頂いた個人情報は、宇都宮大学公開講座についての情報提供、講座実施に関する連絡等のみを目的として使用させていただきます。

平成 年 月 日

ふりがな 氏名		住 所	(〒 _____ )
性別	男性 ・ 女性		都 道 府 県
生年月日 (年齢)	昭和・平成 年 月 日 ( _____ 歳) ※1	E-mail	
電話番号	( _____ )		
FAX番号	( _____ )		
携帯電話	( _____ )		

講座 No.	講 座 名	講座 No.	講 座 名

## 【注意事項】

- ※1 傷害保険加入講座にお申し込みの場合は、必ず生年月日をご記入ください。
- ※2 全10回・15回の講座の受講に際し、大学へ車で来られる方には、自動車入構許可証を発行します。下記の枠の中に車輛登録番号を記入してください。
- ※3 受講に際し、補助者等の支援を必要とする方は、受講申し込みの際にお申し出下さい。

車輛登録番号 (記入例：宇都宮 300 あ 1234)

以下は、今後の研究のために統計的に処理いたします。ご協力頂ければ幸いです。

性別	① 男性	年齢	10代・20代・30代 40代・50代・60代 70代以上	受 講 回 数	宇都宮大学の公開講座を受講することが ① 初めて ② 2回以上 ( _____ 回 )
	② 女性				
居 住 地 域	① 宇都宮市内	職 業			① 会社員 ② 公務員 ③ 団体職員 ④ 自営業 ⑤ 農林業 ⑥ 自由業 ⑦ 主婦 ⑧ 学生 ⑨ 無職 ⑩ その他 ( _____ )
	② 宇都宮市以外の市町村 ( _____ )				
	③ その他 ( _____ )				
情 報 源 等	* 今回の公開講座について、何で知りましたか？				
	① 公開講座開催案内 (パンフレット) ② 市町村の広報 ③ 新聞 ④ ポスター ⑤ 公民館や図書館 ⑥ テレビやラジオ ⑦ 知人から ⑧ 本学教職員等から ⑨ チラシ(新聞折込) ⑩ その他 ( _____ )				